

社会教育実習支援ネットワークの展望

全国社会教育職員養成研究連絡協議会
社会教育実習支援ネットワーク WG 事務局長
出川 真也

はじめに - 大学における社会教育研究者の特徴・素質と役割について考えること -

1. 社会教育実習の意義とネットワークの必要性

社会教育実習の意義（参考：過年度の社養協調査による社会教育実習数等の推計値）
ネットワーク形成の必要性

2. 社会教育実習支援ネットワークの基本機能

①マッチング・研修

養成校－実習先のマッチング・調整支援、実習先・養成校担当者相互研修の企画提供

②モデル提供・実践

多様な実習モデルプログラムの提供実践やイベントの企画実施

AL,SL,PBL,PAR 等、連携・協働を促進し、現場実践に寄与する実学的教育・研究手法の導入推進

③研究・開発

・ネットワークを活用したケースとデータを基盤とする実習研究の新たな地平開拓

3. ウェブサイトとデータベースの構築・提供

「社会教育実習支援ネットワーク」サイト

<https://sites.google.com/view/shazissyunet>



4. 期待される効果について

現場実践と大学教育/研究の相乗的活性化、実習先及び活用（就職）先の開拓推進



地域社会における社会教育の波及展開と活性化、養成校の社会貢献力の向上

5. 今後の視点と検討事項

①マッチングと PBL（プロジェクト型実践学習）への展開・応用

②リスクマネジメント（安全管理・ハラスメント防止等）対策

③研修プログラムの開発/提供

④アセスメント（評価）方法の研究開発

おわりに - ネットワークへの参加について -